

世界に誇れる 美しい小さな世界都市 豊岡をめざして

現在、世界各地で様々な環境破壊の実態が報告されています。かつては当たり前のようにあった自然環境が人の手によって歪められ、失われつつあるのです。豊岡では、一度は絶滅したコウノトリの野生復帰の取組みを通じて、コウノトリと人が安心して暮らせる豊かな自然・文化環境の創造を目指しています。「いつか大空に帰す」と誓ったコウノトリとの約束から半世紀。自然放鳥、そして自然下でのヒナの誕生を経て、野生復帰の取組みは着実に前進しています。「コウノトリと共に生きる」とはどういうことなのか。「持続可能なまちづくり」とはどういうことなのか。その答えを探る、市民・行政一体の壮大なプロジェクトが、今新たな方向へと進み始めています。

コウノトリ野生復帰事業から見てきたこと

コウノトリの保護から始まったこの活動は、野生化するコウノトリの受け皿とするため、大規模湿地「ハチゴウの戸島湿地」の整備や河川の自然再生、ビオトープ水田の設置など生態系の保全・再生・創造の取組みへと広がってきました。絶滅から復活にいたる物語を身近で見ていた豊岡の人たちが、「コウノトリも住めるまち、それは人も安心して暮らせるまち」であることに気づいたのです。



田んぼの生きものの層を厚くする「コウノトリ育む農法」などの環境創造型農業にも取組み、水田を重要なコウノトリのエサ場とするため、冬も田んぼに水をためたり、中干しを遅らせたりしながら生きものが生息できるよう配慮しています。この農法の面積は、農家の一人ひとりの努力と熱意によって、着実に広がってきています。これらの活動を継続していくため、コウノトリ育むお米の販売や環境型企業の誘致など、環境と経済の好循環の仕組みづくりも広がっています。

コウノトリが暮らせる環境を創造するために

今、豊岡の空には30数羽ものコウノトリが舞っています。里地・里山の生態系の頂点に立つ大食漢のコウノトリが野外で自活していくには、さらに自然を豊かにしていく必要があります。また、豊岡だけでなく、日本各地にコウノトリも住める環境とコウノトリと共に暮らす文化を持った地域が出てこなければ、本当の意味で野生復帰は実現しないでしょう。

豊岡から日本へ、そして世界へ。
確かな未来へと続くメッセージを発信していくために、豊岡の取組みはさらに進んでいきます。

豊岡市の取組みに共感され、 サポートする企業が増えています!!

豊岡市が推進している、「環境」と「経済」が刺激しあいながらお互いを高めあっていくまちの実現に向けた取組み(=豊岡市環境経済戦略)は、各種の企業からも注目を集めています。環境への取組みが企業イメージを左右する現代社会においては、CSR[®]活動の一環として豊岡のコウノトリ野生復帰事業に協力する企業も増えています。◎CSR=企業の社会的責任



あなたもコウノトリ
野生復帰に参加しませんか

TOYOOKA Mayor's Voice 「魅力いっぱいのもち・豊岡」

日本の空から一度は姿を消したコウノトリが再び豊岡の空を悠然と舞っています。緑豊かな大地と、青く澄みわたった大空との間をコウノトリが悠然と舞う姿は、私たちの心に豊かさをあたえてくれています。豊岡は、コウノトリも住める豊かな自然だけでなく、海や山の味覚、心も体も癒してくれる温泉など魅力がいっぱいです。ぜひ、この機会に豊岡を満喫していただきたいと思います。大空を悠然と舞うコウノトリと共に皆様を歓迎いたします。



豊岡市長 中貝宗治

コウノトリをめぐる取組み

コウノトリの保護から放鳥まで、地域住民と行政が一体となって実現。「環境活動」を通じて地域交流の活性化が進む未来志向型の交流文化確立を目指します。豊岡でコウノトリと共に暮らす環境を深く学び、環境への意識を高めましょう!

コウノトリをもっと
知ってもらうために

環境と経済の好循環
環境経済戦略

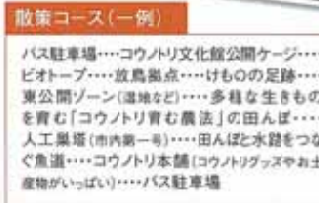
持続可能な社会へ
コウノトリの生息地の
確立、未来へ

地元との交流

コウノトリリズムガイドによる コウノトリのふる里散策

コウノトリリズムガイドとともに、コウノトリの郷公園周辺を散策しながら自然観察する体験プログラムです。コウノトリの郷公園に加え、コウノトリの生息場所となる田んぼ等の取組みも見ていただけます。コウノトリが舞い降りるのを見ながら、地元の人からしか聞けないようなお話をお聞かせいただけます。
(別途料金・事前予約要/詳しくは担当者にお尋ねください)

散策可能時間 10時~17時 ※最終受付15時半
散策所要時間 約60分
費用に含まれるもの ●おもしろガイドマップ(コウノトリのふる里散策用) ●コウノトリ特製ファイルホルダー ●コウノトリ記念折り紙
(※ツアー代金の一部が豊岡市コウノトリ基金に寄付されます ※ツアー参加後、寄付証書(お礼状)をお送りいたします)
最少催行人員 8名様~(ガイド1名につき、最大15名様まで)



散策コース(一例)
バス駐車場...コウノトリ文化館公開ケージ...
ビオトープ...放鳥場...けもの足跡...
東公園ゾーン(湿地など)...多様な生きものを育む「コウノトリ育む農法」の田んぼ...
人工巣塔(市内第一号)...田んぼと水田をつなぐ魚道...コウノトリ本館(コウノトリグッズやお土産物がいっぱい)...バス駐車場

戸島湿地ガイドツアー

2008年4月、戸島湿地内の人工巣塔で放鳥コウノトリのペアから3羽のヒナが誕生し、7月に巣立ちました。この湿地はラムサール条約の登録に向けて整備されたものです。ヒナが誕生し、見事巣立ちをしたこの湿地を、コウノトリの様子がよく観察できる観察棟から間近に見学できるプログラムです。
(別途料金・事前予約要/詳しくは担当者にお尋ねください)

散策可能時間 10時~17時 ※最終受付15時半 散策所要時間 約60分
費用に含まれるもの ●おもしろガイドマップ(ハチゴウの戸島湿地散策用) ●コウノトリ特製ファイルホルダー ●コウノトリ記念絵葉書
(※ツアー代金の一部が豊岡市コウノトリ基金に寄付されます ※ツアー参加後、寄付証書(お礼状)をお送りいたします)
最少催行人員 8名様~(ガイド1名につき、最大15名様まで)

散策コース(一例)
戸島湿地管理棟...野鳥観察棟...
...汽水と淡水を分ける堤防(止水ゲート)...
...山ざわ湿地(非公開ゾーン)...戸島湿地管理棟
※コウノトリの繁殖状況によっては、コースが変更となる可能性がございます。



今年も人工巣塔で産卵しました

農業視察

JAたじまによる「環境保全米の 取組みと販売活動」を視察

JAたじまではおいしいお米と多様な生きものを育み、コウノトリも住める豊かな文化・地域・環境づくりを目指すためのお米作りを進めています。また、コウノトリ育むお米の販売活動に力を入れ、全国に販売経路を広げています。コウノトリ育むお米作りを通じ、日本の主食であるお米の大切さとあわせて、生命あふれる田んぼの恵みを学ぶことが出来るプログラムです。
(別途料金・事前予約要/詳しくは担当者にお尋ねください)

視察可能時間 10時~17時 ※最終受付15時半 費用に含まれるもの ●視察資料
視察所要時間 約60分 最少催行人員 8~50名様



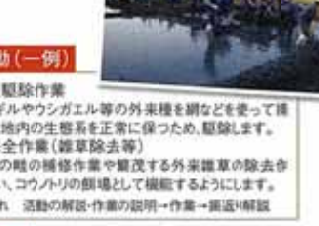
視察の流れ(一例)
取組み説明→コウノトリ育む農法の田んぼ見学・説明

環境保全・生態系保全に貢献

戸島湿地にて 生物多様性保全 についての貢献作業

生態系の頂点に立つ大食漢のコウノトリが生息するには、顔となるたくさんの生きものが生息し、餌が採りやすい湿地が必要です。しかし、こうした湿地は、ブラックバス等の外来魚やキシュウズメノヒエのような外来雑草にとっても格好の場となります。コウノトリや地域の生物多様性保全のため、この重要な湿地の保全作業を行い、自然環境を学ぶプログラムです。
(別途料金・事前予約要/詳しくは担当者にお尋ねください)

作業可能時間 10時~17時 ※最終受付15時半
作業所要時間 約90~120分
費用に含まれるもの ●おもしろガイドマップ(ハチゴウの戸島湿地散策用) ●コウノトリ特製ファイルホルダー ●コウノトリ記念絵葉書
(※ツアー代金の一部が豊岡市コウノトリ基金に寄付されます ※ツアー参加後、寄付証書(お礼状)をお送りいたします)
最少催行人員 8名様~
(活動指導員1名~、人数については要相談)



作業活動(一例)
A) 外来種駆除作業
ブルーギルやウナギ等の外来種を網などを使って捕獲し、湿地内の生態系を正常に保つため、駆除します。
B) 湿地保全作業(雑草除去等)
湿地内の雑草の除去作業や草刈り等の作業を行い、コウノトリの餌場として機能するようにします。
※活動の流れ 活動の解説・作業の説明→作業→駆除/解説

コウノトリ野生復帰を中心とした官民一体の多様な取組みは、単なる観光旅行という枠にとどまらない地域を大切にしたいものとして、行政や一般の企業、また教育現場などから注目を集めています。取組み内容を体験していただける様々なプログラムを上記以外にもご用意しております。詳しくは、担当者までお尋ねください。

豊岡市コウノトリ基金 皆様から寄せられた寄付金は、コウノトリとともに暮らす豊かな環境の創造にむけて、休耕田の借り上げや、湿地の再生などのために積み立てられます。